

第 69 回ライスボウル記者発表会が行われました



左から パナソニック 荒木監督、高山主将、立命館大学 田辺主将、米倉監督（写真提供 Huddle Magazine）

12月15日、アメリカンフットボール日本選手権、プルデンシャル生命杯第69回ライスボウル記者発表会が行われた。日本協会浅田理事長、特別協賛社プルデンシャル生命保険・佐藤執行役員、金氏大会実行委員長のご挨拶に続き、7年ぶりにライスボウルで対戦する両チーム指揮官は次のように語った。

立命館大学 米倉監督

「2日前に出場権を得たばかり。パナソニックさんの分析はこれから。スピード・パワー・技術、全てにおいて我々よりも上。我々に利があるとすれば伸び代、ここからの三週間で学生がどれだけプレーヤーとして、人間として成長出来るか。ここにかかっている。

パナソニックさんをあらためて見たが、堅い守備と、安定したキッキング、力強い攻撃があり、選手一人一人が素晴らしいと感じた。我々のアドバンテージは若さ。この三週間の取り組みが勝負どころ。関西学院さんがそうであるように、このチャレンジがチームのあらゆる成長に繋がっていく。

パナソニック インパルス 荒木監督

「Xリーグの代表として恥じない試合をしたい。ここまで戦ってきて、結局はこの1年間積み上げてきたファンダメンタルが勝利に繋がった。ファンダメンタルが上回るチームが勝つ。

立命館大学はRB、DL、LBなど、要所に素晴らしい選手がいるので警戒している。立命館大学の若さに対して、我々はDL脇坂をはじめ、ベテランが多い。彼らの経験を生かし勝利したい。昨日の試合もいろいろな取り組みを準備したが、最後はベーシック。個々を鍛え上げたい。

「社会人チームとして学生に負ける訳にはいかない」と語るパナソニック荒木監督と7年前のライスボウル制覇を再現したい立命館大学米倉監督、目の離せない熱い戦いが期待できそうだ。